

陽だまり

2012 63号



困ったことがあれば、フロアマネージャーまでお気軽にどうぞ。

撮影：入江賢行（臨床工学技士）

病院の基本理念と基本方針

基本理念

最新最高の医療を、安全に提供する公的医療機関として能登全域の住民の健康を守ります。

基本方針

- 1 患者の皆さまの立場を第一に考えた医療を目指します。
- 2 たゆまぬ研鑽をとおして医療水準の向上を目指します。
- 3 最良でより高度な急性期医療を目指します。
- 4 医療機関との連携を密にして地域医療の推進を目指します。
- 5 公的病院を堅持しつつ健全な病院経営を目指します。
- 6 チーム医療に徹し、全職員が誇りを持って働ける病院を目指します。

ご来院の皆さまを目配り・気配りでサポート！ フロアマナージャーのお仕事

病院に来て、「なかなか診察の順番がこないけど、どうなってるんだろう」「次の検査を受ける場所はどこにあるのかな」など、不安に思われたことはありませんか？

当院では、患者さまが「ズムズム」かつ「安心」して診療を受けることができるようお手伝いさせていただく、フロアマナージャーを平成23年9月から配置いたしました。

フロアマナージャーの仕事には、決まりきった業務はなく、患者さまやご家族の方からの相談をお受けしたり、体調の優れない患者さまへの対応が速やかにできるよう、常に外来フロア全体に目を配るよう努めています。また、院内で迷われている方がいれば声を掛けご案内するといった、一人ひとりのニーズに合わせたサービスの提供を目指しています。最初は、特に目印も付けず業務にあたっていたのですが、「何か目印があった方が、患者さまも声を掛けやすいのではないかと」と、スタッフ

から積極的な提案があり、現在は腕章をつけて業務を行います。突然、「案内・相談」と書かれた腕章をつけたフロアマナージャーから、声を掛けられて驚かれた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

フロアマナージャーは、看護師長が当番制で、午前9時から午前11時までの間、外来Bブロック付近で業務にあたっています。まだまだスタートしたばかりで、不慣れな点もあるかと思いますが、少しでもご来院の皆さまのお役に立ちたいという思いで、日々取り組んでおります。ご不明な点や困ったことがありましたら、どうぞお気軽に声をお掛けください。



目印はこの腕章です！

がん相談支援室からのお知らせ

院外情報誌「陽だまり」の61号でご紹介させていただいた、がん相談支援室です。このたび相談室と情報提供コーナーができました。場所は3階外来化学療法点滴室の患者さま入口付近となっています。



相談室と情報提供コーナー

情報コーナーでは各種パンフレット、医療用かつら（ウィッグ）やケア帽子の展示、参考図書の見学をしております。また、インターネットト端末を設置しており、自由に検索も可能です。どなたでもご利用できますので関心のある方はぜひお立ち寄りください。

相談室では随時ご相談を受け付けております。4月からの開設以来、徐々に件数も増えています。がん患者さまの在宅医療に関する悩み、抗がん剤の副作用に関する悩み、家族の悩み、緩和ケアに関する悩みなど一緒に考えさせていただきます。

この相談室や情報提供コーナーができたことで、患者さまのお話をゆつくりと聴くことができ、情報を提供しやすくなりました。設備が整ったがん相談支援室では、今後も皆さまの不安が少しでも和らぐように、一生懸命お手伝いさせていただきます。

紹介患者さま受付 窓口のご案内

地域医療支援センターでは、紹介状を持って受診される患者さまの受付窓口を総合案内に設置しました。

総合案内前には、「紹介担当」の腕章をつけた地域医療支援センターの職員が対応を行っています。紹介状を持ってご来院の際は、どうぞお気軽に声をお掛けください。



青い看板が目印！紹介(状)受付

ピカピカ車椅子を

寄贈していただきました

12月28日に、車椅子を3台寄贈していただきました。

さっそく正面玄関に配置させていただきます。患者さまに利用していただいております。

この場をお借りして、心より感謝申し上げます。



寄贈していただいた車椅子

健康づくりのお手伝い

“出前講座”を開催しています

公立能登総合病院では、患者の皆さまと手を携えた『地域に開かれた病院』を目指しており、地域の方々の交流を図るとともに、健康づくりのお手伝いの一環として、当院職員による出前講座を開催しております。

「出前講座」は、医療に関する専門的知識・情報などを住民の皆さまに提供するための講座で、当院職員が無料で出向いて実施いたします。講座内容は、好みの内容を選択できます。今年度からは看護師による出前講座も始まり、申込者の選択の幅がより広がりました。



医師による知識を深める講座も、看護師による身近さを感じる講座も、それぞれに魅力があり、参加者からは好評をいただいております。

- ・ 講座内容の例として、
- ・ 生活習慣病について
- ・ がん、緩和ケアについて

- ・ 子どもの病気について
 - ・ 皮膚炎・アトピーについて
 - ・ 認知症について
 - ・ AED操作について
- などがあり、医師によっては、申込者のご希望に沿った講座にすることも可能となっております。
- 出前講座に参加された方々から

公立能登総合病院

協議会を開催

当院では、地域の皆さまの意向が幅広く反映される公立病院を目指し、七尾市及び中能登町の住民団体代表者や学識経験者による委員で構成される、公立能登総合病院協議会を毎年2回開催しており、今年度1回目となる病院協議会を、平成23年11月10日(木)に開催いたしました。

病院協議会では、上半期の経営状況の報告、当院経営改革プランの進捗状況及び新しく開設された地域医療支援センターの説明の後、委員の皆さまと協議を行いました。

委員の方からは、ジェネリック医薬品の取扱いや医薬未収金についてなど、地域住民視点からの有意義な

は、「詳しい話を聞け、大変有意義な時間になりました。」「仕様がない。」「と安易に考えず、出前講座で聞いたことを家で実践していきたい。」などの感想をいただいております。

出前講座の申込みは随時受け付けています。興味のある方はお気軽にお申込み・お問い合わせください。

【お申込み・お問い合わせ】
直通電話(0767) 52-8774
FAX番号(0767) 53-2424
経営企画課 担当：宮本・上野

質問が数多くありました。

また、「現在の経営改革プランについては概ね明記されている目標を達成できているので、引き続き職員一丸となって経営改革に取り組んでいただきたい。」「職員とすれ違った時に明るく挨拶され、病院の雰囲気がお明るくなってきたと感じた。」とのお言葉をいただきました。

今回の病院協議会でいただいた貴重なご意見を参考にし、全員経営、全員医療で病院運営に取り組みんでいきたいと思います。



情熱的なテノールとアコーディオンの共演

クリスマスコンサートを開催

毎年恒例となりました、当院さわやか委員会主催のクリスマスコンサートが、12月17日(土)に開催されました。今回は音楽ユニット「ラ・ボエーム」の今村薫さんと室崎安雄さんを招いてのコンサートとなり、今村さんの力強く情熱的なテノールの歌声と、室崎さんの繊細で伸びやかなアコーディオン演奏で会場を異国の世界に誘っていただきました。

コンサートには、80名以上の入院患者さまや付き添いの方が集まる中、ホワイト・クリスマス、千の風になつてを含む全13曲を、時には会場を回りながらのパフォーマンスで聞かせていただきました。最後のきよしこの夜・ふるさととの2曲では観客の皆さまと一緒に大合唱し、ステージと会場が一体となりました。

コンサート終了後、患者さまから「感動して涙が出そうになった」との感想をいただき、癒しの場を提供することができたと思えます。



情熱的なテノールとアコーディオン演奏

医療最前線 『特発性正常圧水頭症 (iNPH)』

手術で治す “高齢者の認知症”

公立能登総合病院 副院長兼脳神経外科部長 橋本 正明

日本の少子高齢化社会の中で増え続ける認知症への対応が喫緊の社会問題となり、全国でも地域の認知症ネットワークが着実に形成されてきています。

わが国における認知症患者は、250万人以上とされ、今後更に増え続けると言われております。一言で認知症といっても、その代表はアルツハイマー型認知症で約半数を占めますが、その他、脳血管性やレビー小体型など種々の認知症があります。

どのような原因にしろ、「認知症になると徐々に進行し一生治らない」と思われがちですが、その中で唯一、外科的治療で症状が改善する認知症として特発性正常圧水頭症 (iNPH: アイエヌピーエイチ) という病気があり、認知症全体の中で5パーセント程を占めると言われています。

今回は、世界的に注目され、テレビでもよく放送されている「特発性正常圧水頭症」について説明します。

iNPHの症状と治療方法

iNPHの症状はよちよちとした、転びやすい、歩きが遅くなった等の歩行障害、徐々に進む認知障害及び頻尿や尿失禁等の症状が特徴です。

iNPHの治療については、日本の学会や厚生労働省が中心となつて、平成16年に「特発性正常圧水頭症診療ガイドライン」が作られており、それに基づいた治療が行われるようになりました。

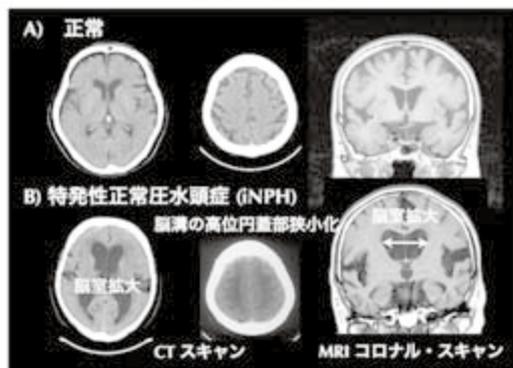
こんな症状がでたら、もしかしたらiNPHかも？



最近呆けが強くなった…？

急に歩きにくくなったような…？

正常とiNPHの脳室拡大の比較



ガイドラインでは、症状とともにCT、MRIなどによるiNPHに典型的な脳室拡大(脳の中の水を溜める部屋の拡大)所見を確認します。通常は外来で腰から針を刺し、髄液を約30ミリリットル抜き取る髄液排除試験が行われ、なにがしかの症状が軽快する際には手術治療を検討します。手術は脳室腹腔短絡術若しくは腰椎腹腔短絡術等が選択されます。いずれも1時間以内に終わる比較的 안전한手術です。

iNPHの臨床試験も行われ、シャント(※1)の有効率は90パーセント、介護度は1段階以上の改善が確認され、日本の成績が世界最先端であることも実証されています。

日本で進む

世界最先端の診療状況

iNPHの成因や診断、治療に関わる厚労省研究班で、平成22年に日本のiNPH診療の現状を調査し、手術治療が更に安全となり、QOL(生活の質)の改善も確認されています。

こうした研究成果は、国際水頭症脳脊髄液学会でも注目されており、先般、デンマークのコペンハーゲンに、欧米を中心に世界中から脳外科、神経内科、放射線科及び精神科等300人を超える人たちが集まり、水頭症、中でもiNPHの診断、治療法やその成績が熱心に議論され検討されました。

日本の診断法や治療法、その成績が大変注目をあび、世界の皆さんと今後の展開に向けて大きな期待が寄せられております。

日本では新しいiNPH診療ガイドラインも改訂発刊され、世界でも最先端の診療状況が進んでいます。

平成24年には、この国際学会が京

※1 シャント
特発性正常圧水頭症は、髄液の流れを良くする治療によって症状が改善します。この手術を髄液シャント術といい、脳神経外科で施されます。

都で開催予定となっており、その準備を着々と進めております。



コペンハーゲン・国際水頭症脳脊髄液学会での発表



患者さん1人に『2人の主治医』をお薦めします

皆様も認知症に対するご理解を深められるとともに、ご家族が歩行障害を伴う認知症である際には、かかりつけ医の先生方と相談され、iNPHの疑いを検討され、認知症診療ネットワークの中で、当院等専門医の受診をお勧めします。

より安心な医療の提供に向けて、当院では、日常の健康管理は『かか

りつけ医』で、専門的な治療、精密検査は『公立能登総合病院の担当医』でと、2人の主治医を持つていただくことをお薦めしています。治療に関する情報交換ができ、患者さんにとっても2人の医師に診てもらえるのでより安心です。

公立能登総合病院 脳神経外科専門医
副院長兼脳神経外科部長 橋本 正明



平成16年5月、「特発性正常圧水頭症診療ガイドライン」（日本正常圧水頭症研究会 iNPH診療ガイドライン作成委員会編）の作成に携わる。

これにより診療内容が標準化され、より安全に治療が行えるようになったため、iNPHの治療に取り組む医療機関は全国に広がる。

脳卒中、脳腫瘍の外科を中心に、国際水頭症脳脊髄液学会をはじめ、水頭症に関する数々の研究成果を発表し奮闘中。

地域医療機関の連携の重要性を強く提唱し、かかりつけ医とともに、質の高い地域医療を目指し、地域医療のモデルを提案。

転ばぬ先の知恵 ~健脚度を向上しよう~

リハビリテーション部 理学療法士長心得 織平 秀一

前回、転ばないための「からだ」づくりとして「脚の力」「バランス能力」を保つことが大切と書きました。今回は「脚の力」の運動です。

1 膝上げ 10歩

何かをまたぐような気持ちで膝を上げます。急がないように、ゆっくりです。前進したら後退も（後ろへは気をつけて、無理はしない）

2 大また 10歩

バランスを崩さない程度に、できるだけ歩幅を広げます。前進したら後退も（後ろ向きはきついです）

3 カニ歩き 10歩

横向きに、何かをまたぐような気持ちで膝を上げながら横へ左右方向に脚を持ち上げて歩くのは、力が必要です。また、片脚になるのでバランスの練習にもなります。



1 膝上げ



2 大また



3 かに歩き

不安だと思ったら、何かにつかまったり、椅子に座って行ってください。

今回は、「バランス能力」の運動です。お楽しみに！

感染管理認定看護師の紹介

感染管理認定看護師とは、病院に関わる全ての人達を感染症から守るため、病院内における感染症発生動向の監視や、各部門における感染対策活動の把握や指導といった、感染管理を主体に活動する看護師のことです。当院では、看護師の大井希美佳さんが、平成23年6月に感染管理認定看護師に認定されました。

今回、大井さんに認定看護師の取得を目指そうと思ったきっかけと、現在の活動内容について伺いました。

●感染管理認定看護師●

大井 希美佳



私が感染管理に興味をもったきっかけは、看護部の感染委員会のメンバーになったことです。委員会での活動を通して私は、感染対策や感染防止技術についてもっと勉強したいと思い、感染管理認定看護師の取得を目指すことに決めました。勉強を進めるにつれて、今まで自分が思っていた「感染対策」はごく一部のことであり、「感染管理」は「管理」という言葉がつくとおり、組織横断的な関わり、システムの構築など色々な「感染管理」を考える必要があるということ学びました。

現在は、専従感染管理者（看護師）として、病院内のすべての職員や患者さまを「感染症」から守るため、「感染防止技術」「職業感染防止技術」から「病院内環境管理」まで総合的に考え活動しています。また、病院のあらゆる部署の感染対策に目を光らせ観察するとともに、各部署の相談に応じ、実践可能な感染対策を現場のスタッフと一緒に考え、病院内の感染管理を行っています。

ここで、身近な感染対策「手洗い」についてご紹介します。冬は、インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症が流行するシーズンです。「手洗い」をしっかりとマスターし、冬の感染症を予防しましょう！

手洗い手順 (石けん液) © SARAYA CO., LTD.

- 1 両手を流水でぬらす
- 2 石けん液を適量手の平に取り出す
- 3 手の平と手の平をすり合わせよく泡立てる
- 4 手の平をもう片方の手の平でもみ洗う(両手)
- 5 指を組んで両手の指の間でもみ洗う
- 6 親指をもう片方の手で包みもみ洗う(両手)
- 7 薬指をもう片方の手の平でもみ洗う(両手)
- 8 手の甲まで洗いぬいにもみ洗う
- 9 流水でよくすすぐ
- 10 ペーパータオルでよく水気をふき取る

SARAYA
http://www.tearai.jp/

右図は手洗いが不十分になりやすい部位を示したものです。
特に指先は手洗いや消毒が不十分になりやすく、細菌リスクが高くなるので、石けん液でよくもみ洗い、汚れを落とした上で、速乾性手指消毒剤を十分塗り込み、ていねいに消毒してください。

手の甲 手の平

大：最も不十分になりやすい部位
中：不十分になることが多い部位
小：不十分になることが少ない部位

手洗いのタイミング

- ① 外出から帰ってきたとき。
- ② 調理前、食事前。
- ③ トイレの後。

手洗いの注意点

- ① 指輪や腕時計をはずして、洗い残しがないようにしましょう。
- ② 手拭きタオルは、家庭でも各自のものを準備するのが理想です。使い捨てペーパータオルが理想です。



その他の予防

【画像提供】 サラヤ株式会社

- ① 咳やくしゃみなどの症状がある人は、マスクを装着し、周囲にしぶきを飛ばさないことが感染予防の1つです。(咳エチケット)
- ② マスクを装着する際は、正しく装着しましょう(自分に合ったサイズですか? 鼻から顎下まで包み込んでいますか?)
- ③ 空気の乾燥により、のどの粘膜防御機能は低下します。室内の湿度は、50～60%が理想です。

CLOSE UP かかりつけ医



岡部内科クリニック

院長 谷口 雅行 先生

「私のかかりつけ医」コーナーです。今回は、七尾市役所近くの「岡部内科クリニック」の院長に就任した谷口雅行先生です。理事長の岡部先生と谷口先生の2人体制となり、ますますパワーアップした岡部内科クリニックにお邪魔しました。

早速ですが、先生が七尾市で診療することになったきっかけについて教えてください。

以前、公立能登総合病院には五年間勤務し、お世話になりました。一時七尾を離れましたが、当クリニックの岡部理事長とは能登病院時代の飲み会が縁で、ずっとおつきあいが続いています。一緒に仕事を

しないかと熱心に誘っていただきました。そこで、医者になって二十年の一区切りとして、患者さんと病院とをつなぐ仕事もあっていいかなという思いで、再び七尾にやってきました。

日頃から、患者さまやご家族に対して心がけていることや、座右の銘などありましたら教えてください。

論語に「子貢(しこう)問いて曰く、一言にして以て終身之を行ふ可き者有りや」と子曰く、「其れ恕(じよ)か。己の欲せざる所は人に施すこと勿かれ」とあります。「恕」とは思いやりの心だと思えます。

もうひとつ、曹洞宗の開祖道元禪師が、長年中国に渡って学んできたことは何かと尋ねられたとき、ただ一つ「柔軟心」と答えた。「柔軟心」とは禅語で身心脱落、悟りの境地をいうようなのですが、鈴木大拙は「やさしい心」と解説しています。

昨年3・11の東日本大震災、原発事故以来「絆(きずな)」という言葉が聞かない日がないほどでした。「絆(きずな)より絆し(ほどし)」と読める夫婦仲」という川柳がありました。同じ「絆」という字が「きずな」になったり「ほどし」(自由を妨げるもの、あしかせ)になったり、「怒」「柔軟心」を忘れずに日々精進していきたいと思っています。

先生ご自身が、健康のために心がけていることはありますか？

メタボ予備群であるという汚名を返上すべく昨年四月からジョギングを始めました。昨年九月の越後湯沢秋桜マラソンでは一〇kmをなんとか完走、今年の能登和倉万葉の里マラソンではフルマラソンに挑戦すべくトレーニング中です。

近年、医療崩壊が叫ばれています。これからの地域医療についてどう思われますか？

団塊の世代が六十五歳以上になり始め、四人に一人は高齢者という高齢化社会を迎えました。また、生活習慣病の対策も十分とはいえませんが、若い世代からの生活習慣病の予防や健康づくりを重視する医療、また、認知症や筋力低下など高齢者特有の介護・リハビリを要する疾患の医療の必要性が今後さらに高まると考えられます。

健康寿命を延長し、元気な高齢者



によって地域社会の活力の維持・増進へとつなげられるように、クリニックとしての役割を果たしていきたいと思っています。

能登病院では、患者さまに「かかりつけ医」を持っていただくことを推奨していますが、当院に対するご希望などありましたらお聞かせください。

高額医療機器の利用や糖尿病教育入院、重症急性期患者さんの受け入れなど大変お世話になりありがとうございます。

糖尿病をはじめとした生活習慣病は重症化した場合、他科との連携も必要になることがしばしばです。お互い顔の見える連携が必要だと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひします。

お忙しい中、ありがとうございます。先生のお話より、かかりつけ医としての意気込みが強く伝わってきました。

医療法人
岡部内科クリニック

診療時間 【予約制】
月・火・水・金 午前9:00~午後1:00
午後2:00~午後7:00
木・土曜日/午前中のみ
休 日 日曜・祝日

TEL(0767)52-3007
URL <http://www.okabe-clinic.jp/>
Eメール info@okabe-clinic.jp

〒767-0001 七尾市 岡部 第一

外来診療予定表

診察担当医が変更になる場合があります。

希望される先生がある場合は、電話にてご確認の上、ご来院ください。

(2012.2.1)

受付	診察室	月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
受付A1 TEL52-8702	外科1	守友	当番医	富田	当番医	牛島	当番医	徳菜	当番医	古川	当番医
	外科2	古川		守友		徳菜		古川			
	外科3							牛島			
	歯科口腔外科	長谷	手術	長谷	特殊外来	長谷	特殊外来	長谷	特殊外来	長谷	特殊外来
	歯科口腔外科	山田(宗)		山田(宗)		山田(宗)		山田(宗)			
	歯科口腔外科	高塚		大学医		大学医		大学医			
受付A2 TEL52-8702	整形外科1	林		伊井		林		伊井		宗廣	
	整形外科2	宗廣		中村(孝)	装具外来 14:00~15:00	中村(孝)		林		伊井	装具外来 13:30~15:00
	整形外科3	中村(孝)						宗廣			
	リハビリ科										八幡(第4) 13:30~14:30
受付B1 TEL52-8703	内科胃腸科	安田		中村(勇)		中村(勇)		安田		胃腸科担当医	
	皮膚科1	和薬 9:00~		越後	手術・検査	越後	手術・検査	越後	越後 15:00~16:30	越後	
	皮膚科2	井村	井村 15:00~16:30	井村		武原 9:00~		井村	井村	井村	井村 15:00~16:30
	形成外科	山城 初・再診	山城/杉下 14:00~16:30	杉下 初診	手術 13:30~15:30 予約診察 15:30~16:30 小学生~高校生	山城 初・再診	→初診受付 11:00まで 手術 13:30~17:00	山城 初・再診	手術 13:30~17:00	杉下 初・再診	山城/杉下 14:00~16:30
	形成外科	杉下 再診		山城 再診		杉下 再診		杉下 再診			
美容外科									(第一) ←		
受付B2 TEL52-8703	内科1	朝日 初診	当番医	藤岡 初診	当番医	田治 初診	当番医	藤岡 初診	当番医	中島 初診	当番医
	内科2	藤岡 (腎・高)				藤岡 (腎・高)				藤岡 (腎・高)	
	内科3	篠崎 (腎・膠)		田治 (糖尿病)		大畑 (血内)		田治 (糖尿病)		橋本(琢) (甲状腺)	
	内科4	横山 (糖尿病)		村本 (糖尿病)		横山 (糖尿病)		中島 (腎・糖)		村本 (糖尿病)	
	循環器科	村田		村田		村田		村田		村田	
	内科6	山下 (循環器)		中島 (腎・糖)		山下 (循環器)		吉村 (循環器)		山下 (循環器)	
受付C1 TEL52-8704	神経内科1	室石 予約・再診		室石 予約・再診		室石 予約・再診				室石 予約・再診	
	神経内科2							高橋 予約・再診			
	耳鼻咽喉科1	坂本	坂本 14:30~16:30	坂本	手術・検査	坂本	坂本 14:30~16:30	坂本	手術・検査	坂本	手術・検査
	耳鼻咽喉科2							野村			
受付C2 TEL52-8704	脳神経外科1			渡辺		吉田		渡辺		大学医	
	脳神経外科2	橋本(正)				橋本(正)		吉田		橋本(正)	
	眼科1	佐伯	検査	佐伯	手術	佐伯	手術	佐伯	検査		検査
	眼科2	山田(美)		山田(美)		山田(美)		山田(美)			
受付D1 TEL52-8705	泌尿器科1	南	手術	上木	往診 検査処置 入院検査 他科回診	南	手術	上木	ED外来 検査処置 入院検査 他科回診	稲村	手術
	泌尿器科2	大学医 初診		稲村 初診		上木 初診		稲村 初診		南 初診	
	小児科1	和田	1ヵ月検診	岡本	1ヵ月検診	和田	斉藤 (心臓)	岡本	当番医	和田	当番医
	小児科2	黒田		石川		石川		黒田		石川	
受付D2 TEL52-8705	産婦人科1	高木		富澤		富澤		富澤		高木	
	産婦人科2	富澤		大学医 (藤田)	1ヵ月検診	高木		大学医 (早稲田)		富澤	
精神 センター TEL52-6619	精神科1	西村		西村		西村	7ルコール薬物依存外来	西村		佐伯	
	精神科2	平松	平松	平松		佐伯		平松		平松	
	精神科3	東間		東間		東間		佐伯		東間	
	精神科4	小坂		佐伯		小坂		小坂		小坂	
外来化学療法点滴室	富田	牛島	徳菜	牛島	守友	牛島	古川	牛島	牛島	牛島	
救命救急センター	院内医師	院内医師	後藤	後藤	院内医師	院内医師	院内医師	院内医師	院内医師	太田	太田
健診部	内科医師	内科医師	内科医師	内科医師	内科医師	内科医師	内科医師	内科医師	内科医師	内科医師	内科医師
放射線科	月曜日~金曜日の午前及び午後 伊藤(月~金)・油野(月~木)・扇(金)・高仲(木) 放射線治療										
核医学	萱野										

TEL 52-6611 (代表) 放射線科: (火) 南、作業療法: 1ヵ月に1度 生田

●外来診療受付(平日の時間内)

一般診療受付 午前8時30分~午前11時30分

但し、診療科によって 午前11時の科もありますので、ご注意ください。